

【伝えたい】私の街の

西東京市

産業ニュース

匠NAVI



データ通信機能を備えた最新の「地すべり記録器」を持つ坂田社長

土木計測のエキスパート センサ通じて安全を守る



私のこだわり
ものづくり

坂田電機株式会社

さか た すすむ
坂田 進 取締役社長

昭和21年東京都杉並区生まれ
平成23年に社長就任

◆住所: 西東京市柳沢2-17-20
◆電話: 042-464-3111

坂田電機 検索



斜面の安全管理を行う転倒センサの受信ユニットを設計

世界唯一の地中無線通信システムを開発

坂田電機株式会社(坂田進社長)は道路や鉄道、橋梁、空港などの建設に欠かせない各種計測機器を開発、製造。変位量を検出するためのセンサとセンサから送られてきた信号を記録する測定器の製造、測定データの解析・報告書の作成までを一貫して行っている。昭和27年に創業し、戦後日本の復興を支える大規模な公共工事に携わってきた。まさに、土木計測のエキスパート企業である。

同社が得意とするのは、土の圧力、土中の水分の圧力、土の動き、角度、温度、移動量などを測るセンサおよびセンサのデータを記録する測定器を作る技術。これらは土に接する場所が使われるため、耐久性が課題となる。同社の高い技術力を駆使して作られたセンサや測定器は40年以上もダムで使われ、今もその役割を果たしている。

主力製品の「地中無線通信システム」は10年以上かけて開発した世界唯一の技術で、数々の賞を受賞している。センサ本体と記録装置をつなぐには電線が必要だが、工事の妨げや、断線の可能性もあるため、無線化が求められていた。

「土木計測の場となる海や土の中では通常の電波が届きません。そこで、低周波磁界を利用し、海中や土中に設置したデータ送信器と地上とのデータ通信をケーブルレスで可能にする技術開発に取組みました」と坂田社長は語る。

同システムは、埋め立て工事での海洋地盤への盛土による沈

下量計測などに使用されている。海中に設置した沈下計や間隙水圧計、傾斜計により、全沈下量や変位量などを計測し、そのデータを海上の受信器へ送信する。羽田空港D滑走路など各種工事に1000台以上が利用されている。

近年、力を入れているのが大雨や地震による地盤災害をリアルタイムに監視して、安全に対策工事を行うための機器の開発だ。同社が製造した土石流検知センサ、斜面崩壊検知センサなどが全国の現場で活躍している。

「今後は、簡単に設置できてすぐに使える、新しい防災装置を開発していきたい」と坂田社長。地すべりを監視する傾斜センサを斜面に設置し、異常事態が起きると、スマホや携帯にメールでいち早く危険を知らせる仕組みづくりに取り組む。

企業理念の「お客様に役立つシステムの創造を喜びにしよう」を大切に、センサを通じて社会の安全を守る役割を地道に担い続けている。



「地中無線通信システム」は数々の賞を受賞した

西東京市産業振興課 INFORMATION

女性の働き方サポート推進事業

ハンサムMamaプロジェクトスタートしました!!

母になって知った世界がある。子育てしたからこそ身についた力がある。子育ては最高のキャリアです。市では「ハンサムMama」プロジェクトの交流会やイベント・講座を通して、子育てしながらも仕事や夢の実現に挑戦したい女性の「理想の働き方の実現」を応援します。詳しくは、専用ホームページをご覧ください。

西東京市 ハンサムMama 検索



西東京市産業ニュース 匠ナビ

西東京市の注目の企業・事業所のホットな情報をお届けする本誌は、年4回(4月・7月・10月・1月)発行しています。市内企業・事業所へのマッチング、商談などのご相談は、西東京市産業振興課までお問合せください。

産業振興課・商工係 ☎042-438-4041

